

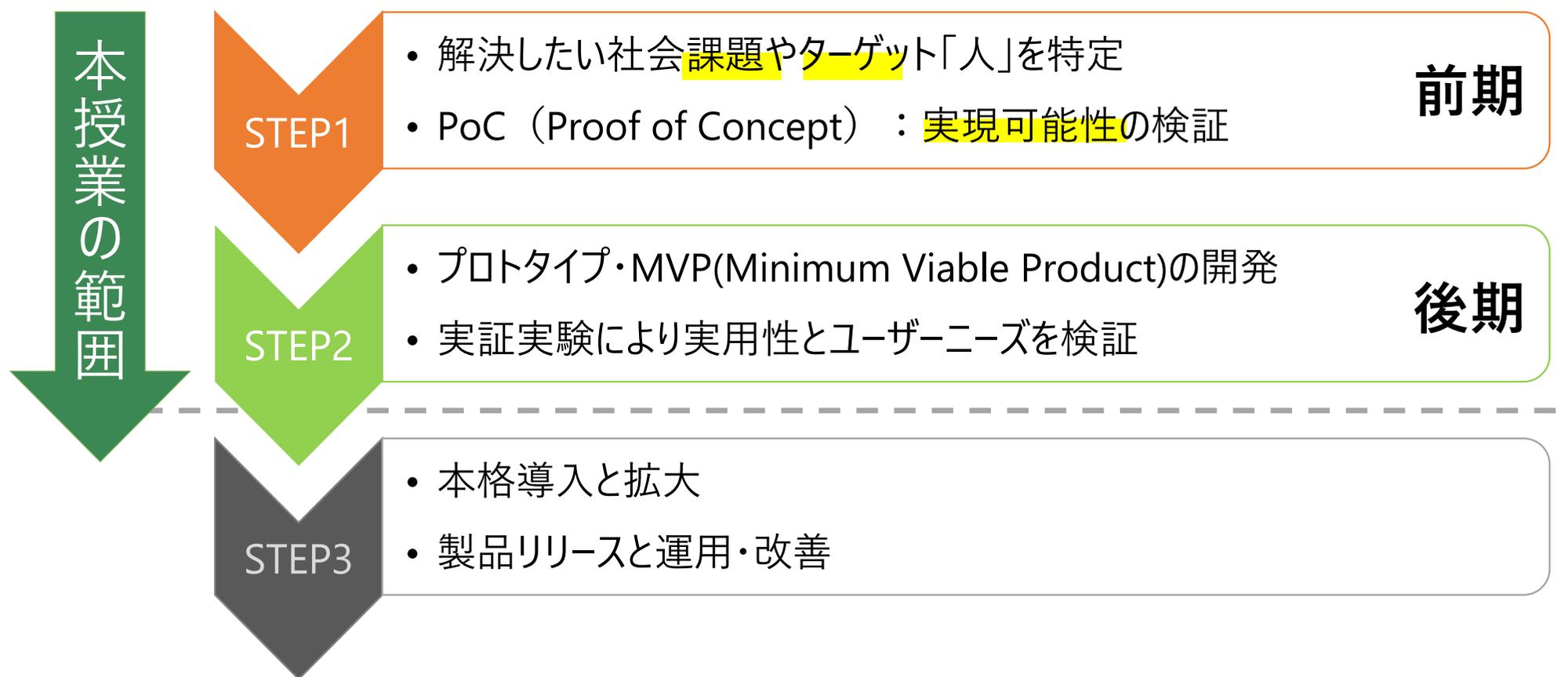


# 電子機械設計・製作 I

week 7

リーンキャンバス

## 社会実装のプロセス



## PoC・プロトタイプ・MVPの違い

前期のGoal

後期のGoal

	PoC (Proof of Concept)	プロトタイプ (Prototype)	MVP (Minimum Viable Product)
目的	“できるかどうか”の検証 実現可能性の確認	“どう使うか”の具体化 デザインや機能の具体化 UI/UXの検証	“使ってもらえるか”の検証 市場での検証、 ユーザーからのフィードバック
対象	技術的な問題、 機能の動作	製品の外観、 使いやすさ、 操作性の確認	最小限の機能で 実際のユーザーに提供
完成度	動作確認レベル	見た目や操作感はあるが、 必ずしも完全には動作しない	実用可能で、ユーザーが 使える最小限の機能
使用場面	開発の初期段階、 技術の検証	デザインやインターフェースの 検証	市場投入、 ユーザーフィードバックの収集

## 電子機械設計・製作 I (2単位: 週1回4コマ)

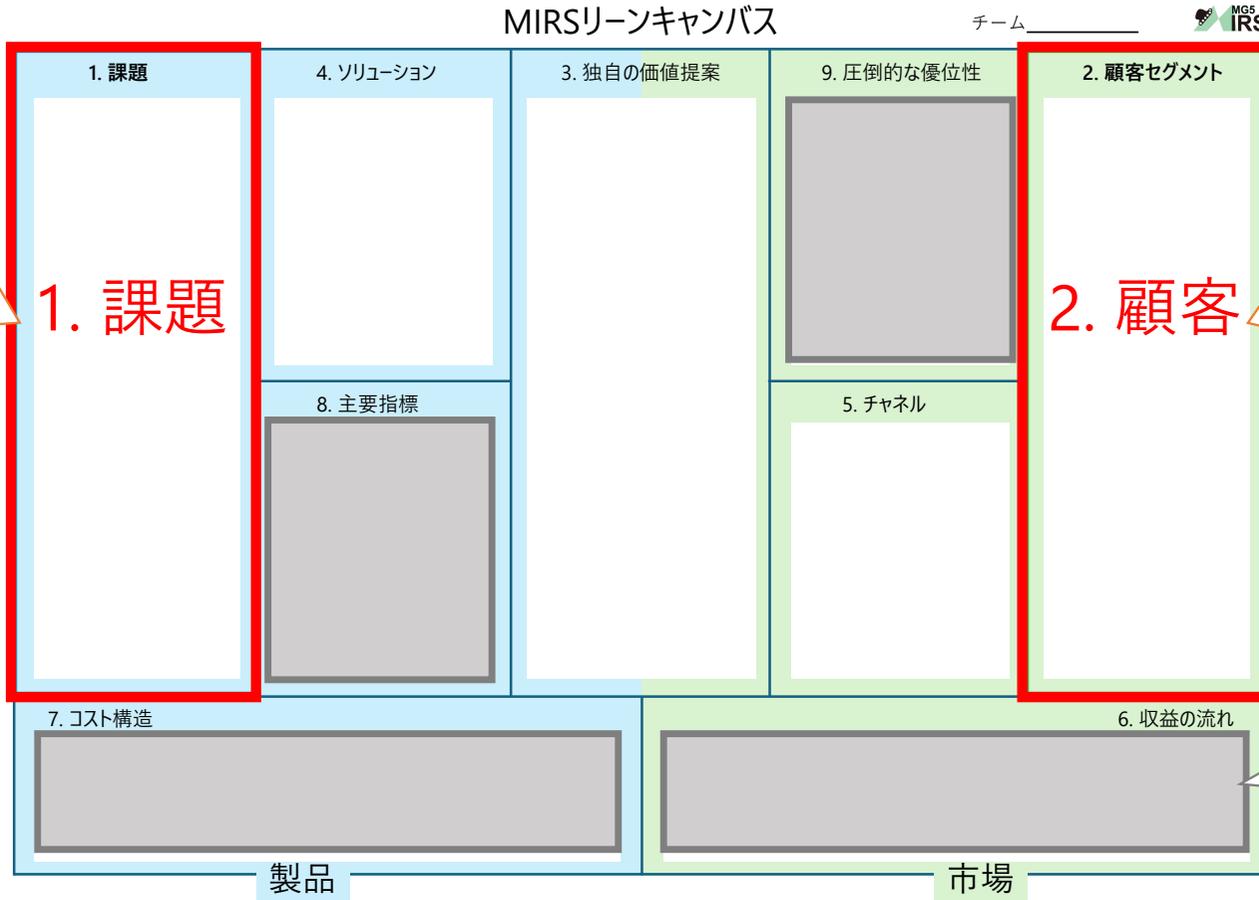
Week1	4/11	ガイダンス・システム解説	
Week2	4/18	チーム発表・システム解説	
Week3	4/25	ニーズ調査	
Week4	5/2	安全講習 / プロジェクト企画	
Week5	5/9	プロジェクト企画	
Week6	5/16	プロジェクト企画 / PoC構想	→ ペルソナ想定
Week7	5/23	PoC構想	→ リーンキャンバス
Week8	6/6	PoC構想	→ PoC計画
Week9	6/13	中間発表会 進捗報告会 (~PoC構想)※	
Week10	6/20	PoC設計・製作	
Week11	6/27	PoC設計・製作	
Week12	7/4	PoC設計・製作	
Week13	7/11	PoC評価	
Week14	7/18	中間発表会 (ポスター発表)	
Week15	9/26	前期まとめ / PoC振り返り	

※ [PoC構想のドキュメント例](#)

# リーンキャンバス

出典：「Running Lean」アッシュ・マウリヤ著

1から順に書いていく  
初期段階で最善と思える仮説を立てる (Plan A)

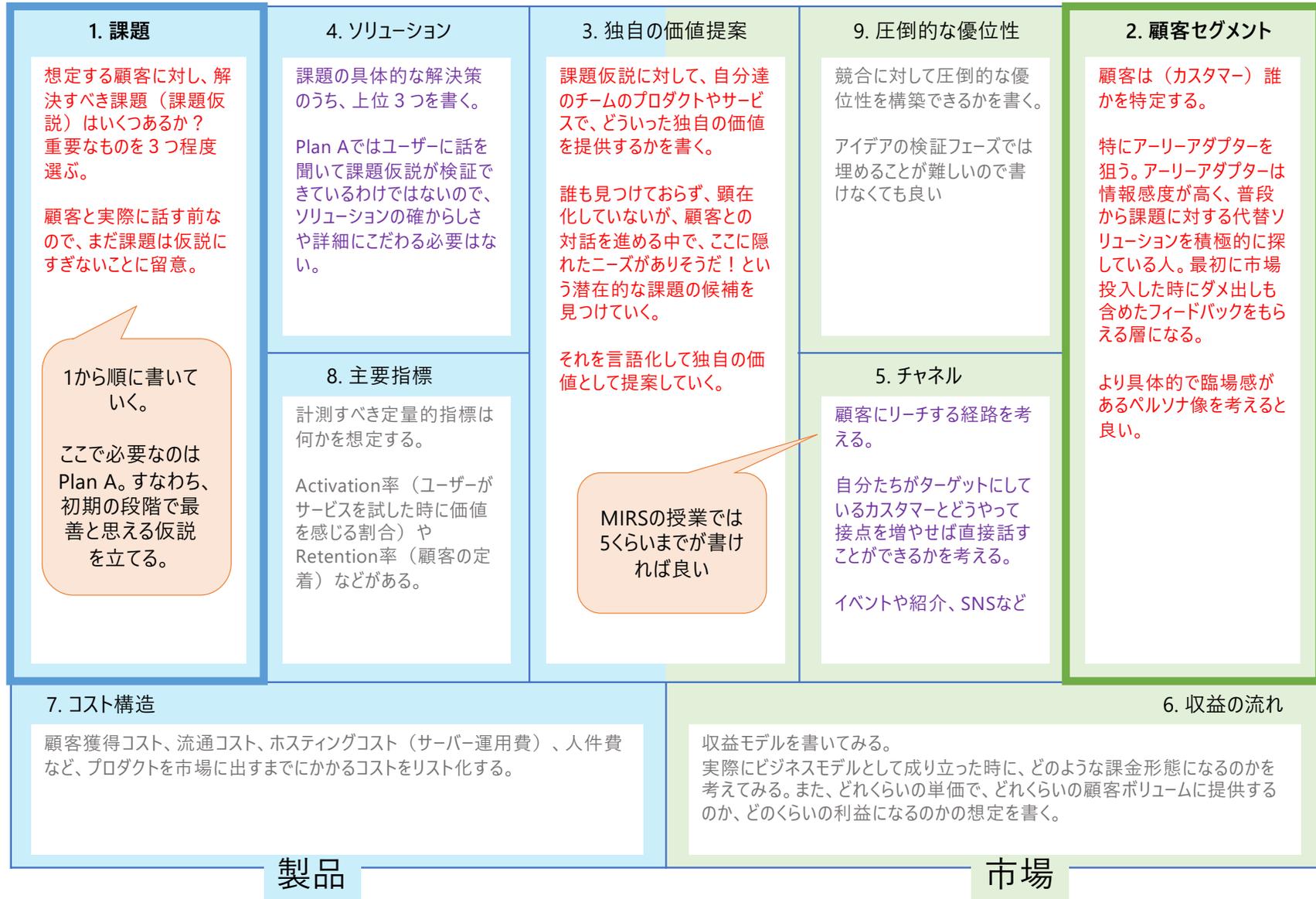


アーリーアダプタとして想定したペルソナにフォーカス

本授業では6以降は省略可

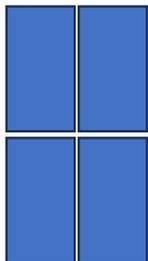
# MIRSリーンキャンバス 記入方法

チーム \_\_\_\_\_

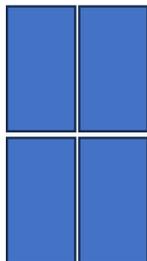


席の配置

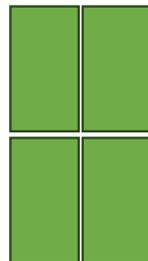
MIRS2501



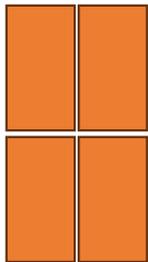
MIRS2501



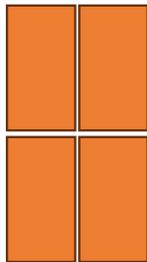
MIRS2504



MIRS2502



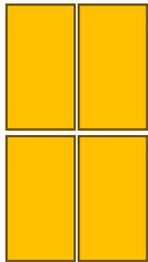
MIRS2502



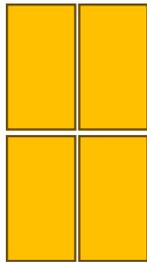
MIRS2504



MIRS2503



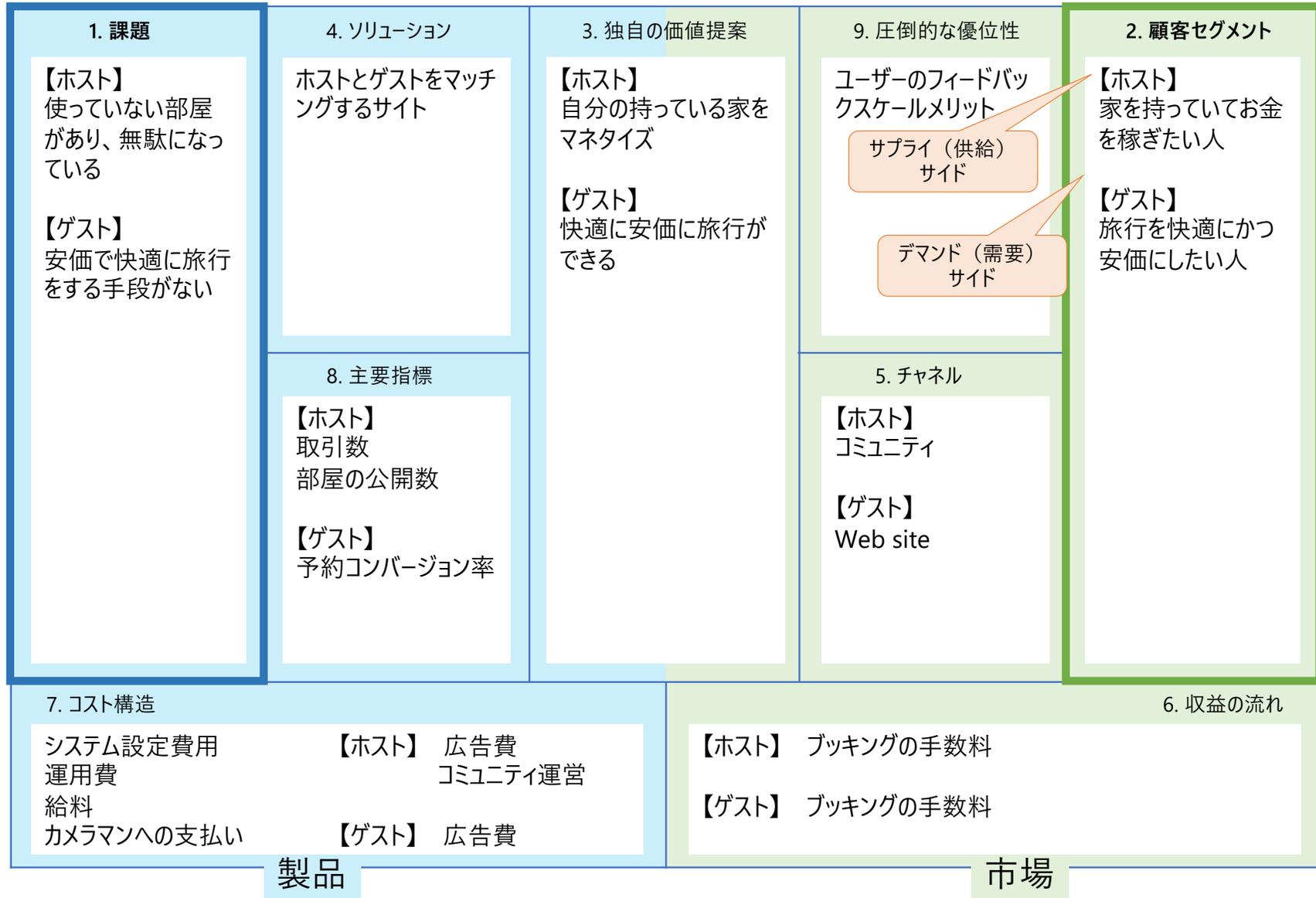
MIRS2503



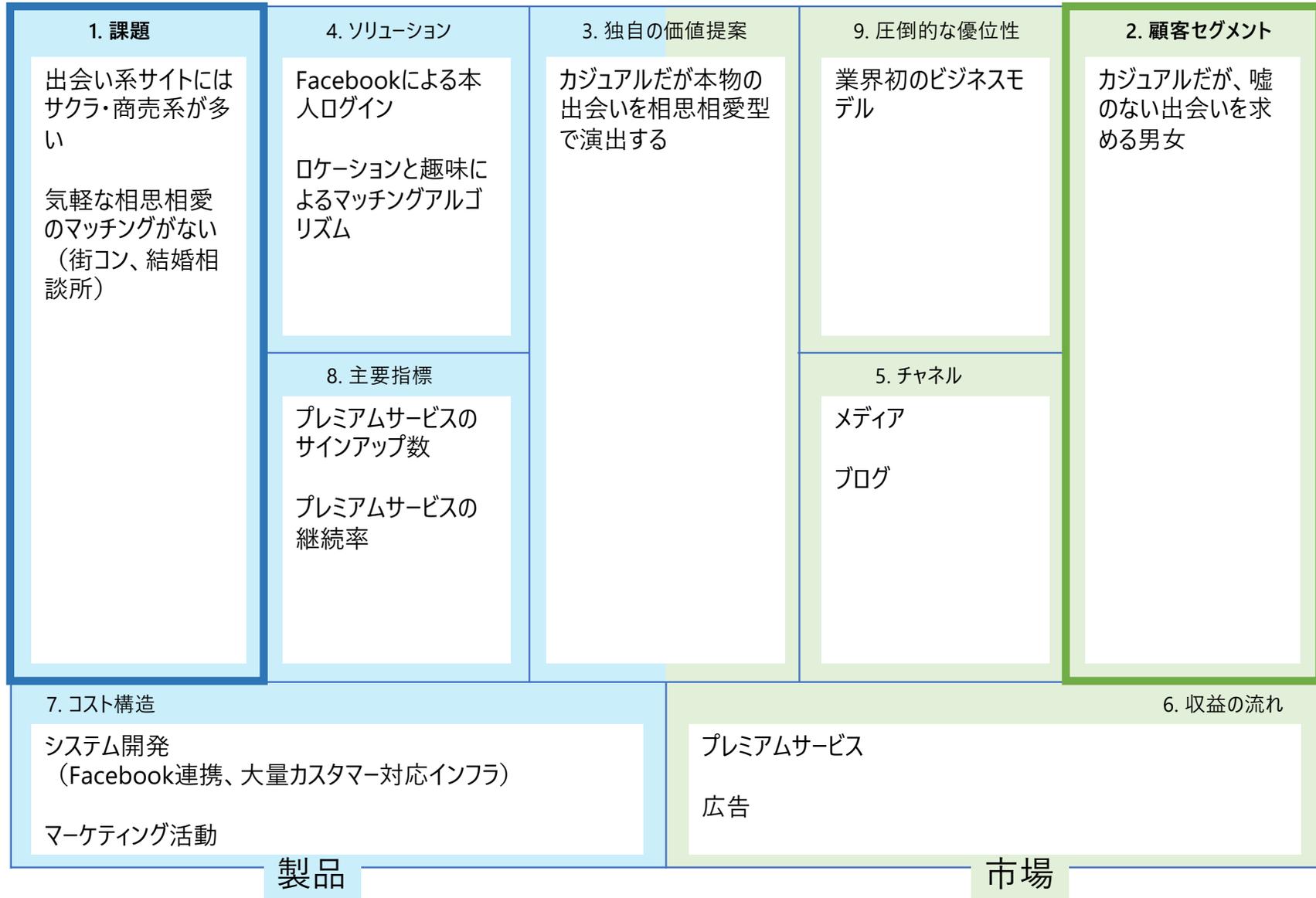
## リーンキャンバス作成ワーク

- STEP1：例を元に個人でアイデアを記入(Think) 【ワークシート】
- STEP2：サブグループ内で共有・収束(Share) 【ワークシート】  
クラス全体で発表（発表担当を1名選出）
- STEP3：昼食を挟んだ後、チームで2案を比較検討  
現場の窓口の方と調整・ヒアリング → レビュー【集中講義枠】
- ・・・3週間後：PoC構想の完成とあわせて、MIRSドキュメントにまとめる

# リーンキャンバスの例：Airbnb



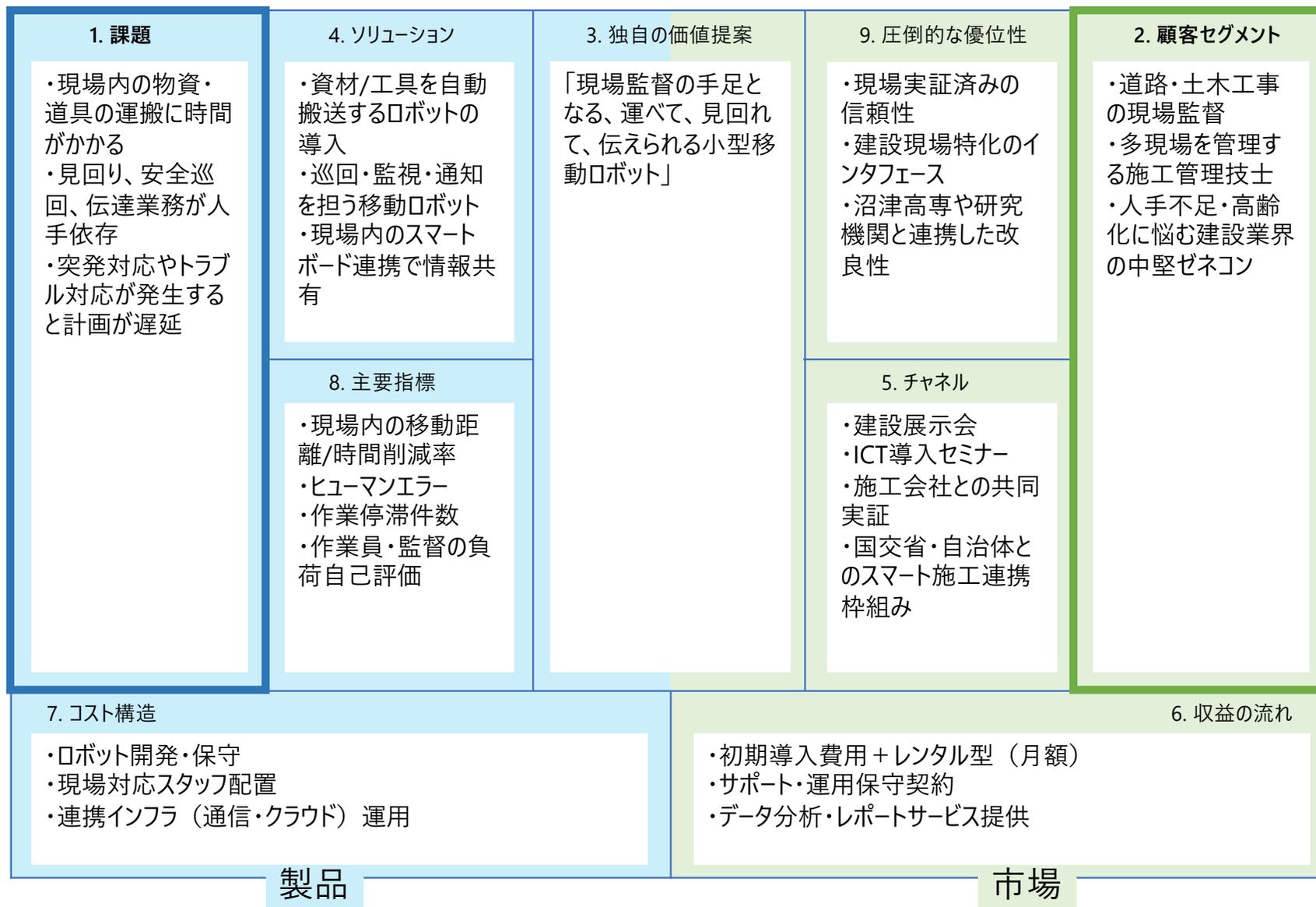
# リーンキャンバスの例：Tinder



# リーンキャンバスの例：Uber



# リーンキャンバスの例：工事現場支援ロボット



## リーンキャンバス作成ワーク

- STEP1：例を元に個人でアイデアを記入(Think) 【ワークシート】
- STEP2：サブグループ内で共有・収束(Share) 【ワークシート】  
クラス全体で発表（発表担当を1名選出）
- STEP3：昼食を挟んだ後、チームで2案を比較検討  
現場の窓口の方と調整・ヒアリング → レビュー【集中講義枠】
- 3週間後：PoC構想の完成とあわせて、MIRSドキュメントにまとめる

## 参考文献

- ✓ 「起業の科学 スタートアップサイエンス」田所 雅之著, 日経BP社
- ✓ 「Running Lean 実践リーンスタートアップ」Ash Maurya著, オライリー・ジャパン、販売はオーム社